

「和・輪・話」のまち につば

「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画の愛称です。

◇わたしたちが目指すまち

絆のまち につば

高齢者が楽しく元気に活動できるまちにしよう
 住んでいる人どうし、支え合うまちにしよう
 一人ひとりが地域のことに興味を持つまちにしよう
 子どもが大人になっても住み続けたいまちにしよう
 お互いにあいさつをし、みんなで明るく安心できるまちにしよう



◆地区の概況

地区の概況

市営地下鉄ブルーライン沿線の、住宅と倉庫・工場などが混在した地区です。地区の西側の丘は市街化調整区域になっており、地区の東側と南側は鶴見川に面しています。共同住宅に住む人が70%近くを占めています。地区内に新羽駅、北新横浜駅があり、また、現在工事が進められている高速横浜環状北線の出入口ができる予定です。

人口等の特徴

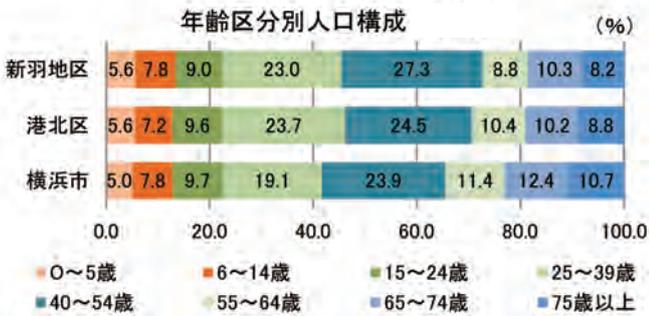
20歳代を中心に、若い方の転入が増える傾向にあります。一方、割合は少ないものの、高齢の単身世帯や高齢の夫婦のみの世帯は増加しています。人口、世帯数は今後も緩やかに増加し、特に30歳代の人口は一度減少した後、再び増加することが予想されます。

福祉保健活動の状況

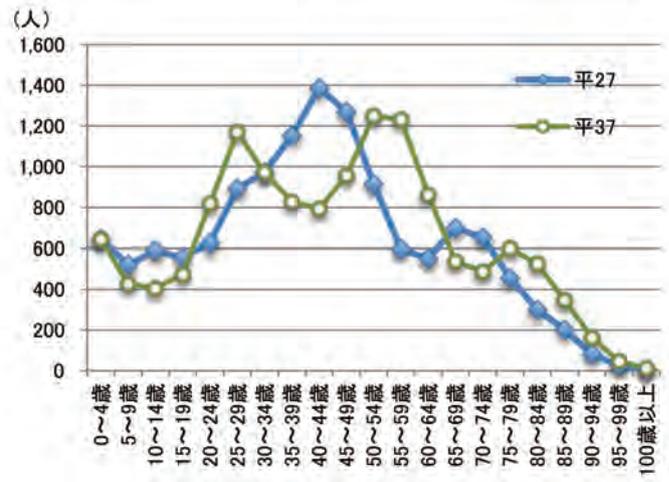
年間通じて多くの行事が開催されています。平成26年に新羽地域ケアプラザ・コミュニティハウスが完成し、様々な活動が行われています。

人口、世帯数などの状況 (平成27年9月末現在)

人口 **13,103 人**
 世帯数 **6,323 世帯**
 平均世帯人数 **2.07 人/世帯 (区平均2.06人/世帯)**



年齢別人口の現状と見通し



◆ 2期計画までの取り組みと3期計画の方向性

●今までの取り組み

町への理解を深め、町を愛してもらおう活動や、住民同士の交流に力を入れて取り組んできました。

●地域の現状と課題

学校と地域の密接な関係が築かれています。様々な地域の行事が活発に行われていますが、新たな担い手の発掘が課題です。

●今後の方向性

現在行っている地域活動を充実し、団体同士の連携を深めながら、「子どもと地域のつながりづくり」「健康づくり活動への取り組み」「住民交流」「見守り、支えあい」「情報発信」の5つの柱に沿って取り組みを進めます。

◆ 計画推進の体制・振り返りの方法

連合町内会や地区社会福祉協議会、行政からの委嘱委員、福祉活動団体などの代表者で構成する地区計画推進委員会を開催し、計画の進ちょく状況の確認や今後の取り組みについての検討を行います。

◆具体的な取り組み

地域ぐるみで子どもを育み、子どもたちのふるさとづくりを進めます

- 地域行事を通じて異世代交流を活発に行い、子どもと地域のつながりを深めます。
- 自治会町内会と学校、PTA が連携し、子どもが参画する地域活動を検討します。
 - ・「明るく美しいまちづくり」事業を進めます。
 - ・子ども会の活動を充実します。
- 子育てを地域で支えます。
 - ・「たんぼぼにっぱ」の活動を充実し、また、子育てに関わる人材を育成します。
 - ・赤ちゃん会や「たんぼぼにっぱ」などを通して、子育て世帯と地域のつながりをつくります。
 - ・保育園や幼稚園と連携した子育て支援を検討します。



新羽の自然や歴史を活用した健康づくりの取り組みを進めます

- 健康づくりや介護予防につながる活動への参加者を増やし、地域を活性化します。
 - ・保健活動推進員が主催するウォーキングなどのPRを行います。
- ウォーキングを町ぐるみで盛り上げます。
 - ・「新羽地区見どころウォーキングMAP」を活用します。
 - ・季節ごとのウォーキングマップ作成を検討します。
- 健康づくり活動をサポートする「パワーアップにっぱ」の活動を継続します。



身近な場所で気軽に行ける、交流の場を増やします

- 気軽に行くことができる場や機会を増やし、自宅に閉じこもりがちな方の参加を呼びかけます。
 - ・男性の地域参加のきっかけづくりとして、「男の料理教室」を開催します。
 - ・地域包括支援センターと協働でサロンを開催します。
- 地区内に多くある福祉施設（グループホームなど）を活用した交流の場づくりを検討します。



支援が必要な人を緩やかに見守り、支える仕組みをつくります

- 高齢者や障がい者などへの理解を深める活動を進めます。
 - ・認知症サポーター養成講座を開催します。
 - ・行事等において、高齢者施設や障がい者施設との連携の機会を増やします。
- 地域でできる見守り、支えあいの取り組みを進めます。
 - ・自治会町内会と民生委員等が連携し、災害時要援護者支援の取り組みを進めます。
 - ・要援護者の把握、見守りについて地域包括支援センターとの連携を強化します。
 - ・「ボランティア竹の子にっぱ」の活動を周知し、また、担い手を増やしていきます。



地域活動の魅力を多くの住民に伝え、参加を促します

- 地域活動の情報をきめ細かに発信します。
 - ・「イベントカレンダー」の発行を継続、充実します。
 - ・紙媒体だけでなく、電子媒体（フェイスブック、ツイッター）も利用して情報を発信します。
 - ・地域で活動する団体同士が、互いの取り組みに関する情報を共有します。
- 地域ケアプラザ・コミュニティハウスと連携し、地域活動に参加する人材発掘を進めます。



「ひろがる」「つながる」「とどく」は、理解と参加の「ひろがり」による活発な地域づくり、人の「つながり」で進める安心なまちづくり、支援が「とどく」仕組みづくり、の3つの計画推進の柱を表しています。



新羽地区計画推進の輪

私たちが住む新羽町を、笑顔いっぱいの住みよい町にするために、
たくさんの団体やグループ、個人が活動しています

子ども

たんぽぽにつば
子ども会
餅つき大会
相撲大会
新羽小土曜塾

健康づくり

パワーアップにつば
ペタンク
グランドゴルフ
ウォーキング

交流

合同敬老の集い
健民祭
サマーフェスティバル
老人会
ガッツにつば
活動団体懇談会

情報

イベントカレンダー
「ふくしの和」
「社協ニュース」
「地域ケアプラザ・
コミュニティハウスつうしん」

見守り・支えあい

竹の子につば
民生委員による訪問
災害時要援護者支援

新羽町連合町内会

南町内会、中之久保町内会、大竹町内会
中央町内会、新羽町自治会、新羽町町内会
北新羽町内会、クリオ新横浜北自治会

新羽地区社会福祉協議会

新羽地区民生委員・児童委員協議会

関係機関

新羽小学校、新田小学校、
新羽中学校、新羽高等学校
新羽地域ケアプラザ・コミュニティハウス

関係団体

連合子ども会、連合老人会
スポーツ推進委員、青少年指導員
保健活動推進員、環境事業推進委員
家庭防災員、明るい選挙推進員、消費生活推進員

● 地区の活動に関する問い合わせ ●

新羽地域ケアプラザ

TEL 045-542-7207 FAX 045-531-7011

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

● 「ひっとプラン港北」に関する問い合わせ ●

港北区福祉保健課事業企画担当

TEL 045-540-2360 FAX 045-540-2368
Eメール ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561
Eメール info@kouhoku-shakyo.jp